



2025 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ディ・アイ・システム
代 表 者 名 代表取締役会長 長田 光博
(コード番号：4421 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役 経営企画本部担当 大塚 豊
(T E L . 0 3 - 6 8 2 6 - 7 7 7 2)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023 年 11 月 14 日に公表いたしました「中期経営計画（2024 年 9 月期～2026 年 9 月期）」で定めた 2026 年 9 月期の数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

数値目標（連結）

（単位：百万円）

	2024 年 9 月期		2025 年 9 月期		2026 年 9 月期	
	計画	実績	計画	実績	当初計画	修正計画
売 上 高	6,900	6,831	7,523	7,222	8,632	7,952
営 業 利 益	342	344	360	356	504	381
営 業 利 益 率	5.0%	5.0%	4.8%	4.9%	5.8%	4.8%

2. 修正の理由

当社は、2024 年 9 月期を初年度とする「中期経営計画（2024 年 9 月期～2026 年 9 月期）」を策定し、企業価値の向上と将来の安定的な収益基盤を確固たるものにするため、『V i s i o n 2028*』を見据え、新たな分野への挑戦により持続的な企業成長と社会貢献の両立を実現する」を基本方針に、諸施策を推進しております。DX推進を背景に、当社グループにおいても、業務効率化・企業競争力強化のための顧客の I T 投資及び I T 人材の育成投資需要は旺盛な状況を維持しております。現中期経営計画の 2 年目となる 2025 年 9 月期の売上高につきましては、本日発表の決算短信のとおり、前期比 5.7% 増の 7,222 百万円となりました。計画に対しては僅かに実績が下回る結果となりましたが、15 期連続増収を達成することができました。

2026 年 9 月期につきましては、現中期経営計画の最終年度となりますが、事業環境の変化と経営課題を総合的に勘案し、当初計画を修正することといたしました。現中期経営計画策定当初は、2024 年

9月期及び2025年9月期の成長投資を経て、2026年9月期には営業利益率が5.8%まで改善する計画としておりましたが、「V i s i o n 2028」の確実な達成に向けた持続的な成長基盤の強化を最優先するため、積極投資を継続することとし、改めて2026年9月期を「戦略投資継続の期」と位置づけることといたしました。具体的には、教育サービス分野におけるA Iを活用した教育プラットフォームの開発投資、セキュリティ製品の機能拡張及び新サービスへの投資、大阪事業所の増床による請負体制の強化、東京事業所の改修による社員エンゲージメント向上に資する執務環境の整備、基幹システムリプレイスに伴う追加機能開発投資等を予定しております。これらの戦略的な成長投資の実施に伴い、2026年9月期の営業利益率は4.8%と、当初計画を下回る水準にとどまる見込みでありますが、これは将来の収益力と企業価値向上に不可欠な布石と判断しております。2027年9月期以降は投資効果の本格的な発現を見込み、引き続き「V i s i o n 2028」の達成、すなわち2028年9月期には営業利益率10.0%への到達を見込んでおります。

なお、「中期経営計画（2024年9月期～2026年9月期）」に掲げる経営方針、経営戦略及び各施策についての変更はございません。引き続き、当社グループを取り巻く経営環境の変化に適時適切に対応するとともに、業容拡大と企業価値向上を図ってまいります。

※「V i s i o n 2028」とは、2028年9月期における売上高100億円・営業利益10億円（営業利益率10%）の達成を目標とした中長期ビジョンのことです。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上